

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	1,010	3,550	1,610	0
	一般財源	(千円)	10,594	67,523	34,592	136,200
事業費計		(千円)	11,604	71,073	36,202	136,200
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	3.90	3.90		
		時間外勤務 (時間)	450.00	450.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	28,640	27,562		
事業コスト		(千円)	40,244	98,635		

R02年度当初積算根拠						
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	5	当初の計画を上回る進捗で事業を実施することができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	42,164	41,686	42,526	0
事業費計		(千円)	42,164	41,686	42,526	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	2.00	2.00		
		時間外勤務 (時間)	130.00	273.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	14,437	14,792		
事業コスト		(千円)	56,601	56,478		

R02年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・道路台帳補正業務委託： 41,679千円 ・道路認定路線網データ管理業務委託： 847千円 					

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	2,276	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	1,309	0	0	0
事業費計		(千円)	3,585	0	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.00		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	706	0		
事業コスト		(千円)	4,291	0		

R02年度当初積算根拠						
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	976 道路維持管理事業							
戦略プラン					担当部課 係名	建設部道路管理課 維持第一係、維持第二係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	任意的事務		
予算科目	01-080201-11 道路維持管理に要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解		
要求区分		事業期間				<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画		
個別計画						<input type="checkbox"/> 実行		
根拠法令	道路法				事業体制	一部委託		
					市長公約			
概要								
事業の目的				事業の概要				
<p>市が管理する道路、管理水路、長きょう物、橋梁の維持管理を実施し、市民の快適で安定した生活を確保する。 通学路等の除草を行い、児童生徒の安全を確保する。</p>				<p>・市が管理する道路、水路等の修繕・補修工事を迅速に処理する。 ・地区要望に対応し、舗装修繕工事、排水改修工事及び通学路内での除草と、常磐道の側道と調整池及び水路の除草を実施 ・「道路橋定期点検要領・国土交通省道路局」に基づいた点検を定期的実施し、橋梁長寿命化修繕計画を策定</p>				
評価								
事業計画				活動実績				
<p>・市内全域の道路、管理水路の補修工事及び排水路の清掃を実施（予防保全及び損壊箇所等の早期発見） ・週5回の道路パトロールを実施 ・市内の各学区を9つに分け、常磐道の側道と調整池及び水路の除草を年2回行う。 ・橋梁定期点検及び、橋梁長寿命化修繕計画の策定を実施</p>				<p>繰越事業 ・道路改良・舗装工事等 4件・測量設計業務委託 1件 現年度事業 ・道路改良・舗装工事等 14件・修繕補修工事 338件 ・測量設計業務委託 14件 ・道路パトロール 年間 250回 ・通学路除草業務委託 9件・調整池等の除草 1件 ・常磐道側道除草業務委託 2件・橋梁定期点検 57橋 ・橋梁長寿命化修繕計画の策定計画 1件</p>				
成果				課題				
<p>測量設計業務の発注及び、修繕補修工事の円滑な実施に伴い、市民の安全な通行の確保ができた。</p>				<p>未発注の道路改良舗装工事等、測量設計委託、さらに、地区要望などの修繕補修工事を含む工事等を予算と連動させ、各種計画の進捗管理を行いながら適宜に発注を行い、今後も、市民の安全な通行の確保を実施していく必要がある。</p>				
改善目標（R02年度にむけて）								
<p>危険性、緊急性及び必要性を判断し、優先順位を付けて維持補修を実施し、市民の安全な通行を確保する。 また、測量設計業務・工事共早期発注をして年度内完了を目指す。</p>								
指標の推移								
1	指標名	修繕・改修工事件数 (件)					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	450.0	450.0
	実績	405.0	377.0	447.0	406.0	287.0	338.0	0.0
	指標の概要	修繕・改修工事の件数						
2	指標名	通学路等除草面積 (m ²)					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	230,000.0	460,000.0	460,000.0	460,000.0	460,000.0	460,000.0	460,000.0
	実績	244,287.0	460,412.0	491,497.0	485,630.0	529,450.0	607,771.0	0.0

	指標の概要	一年間に行う通学路除草（2回/年）の面積						
3	指標名	計画書に基づく橋梁点検数					（橋）	活動指標
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	150.0	117.0	155.0	100.0	80.0	125.0
	実績	0.0	181.0	137.0	155.0	94.0	57.0	0.0
	指標の概要	計画書に基づく一年間の橋梁点検件数						
4	指標名	（ ）						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	（ ）						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	修繕・改修工事の件数						

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	111,133	47,350	62,315	72,000
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	286,400	292,200	300,200	417,000
	その他	(千円)	106,452	110,609	110,609	110,609
	一般財源	(千円)	719,914	615,448	694,844	575,698
事業費計		(千円)	1,223,899	1,065,607	1,167,968	1,175,307
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	7.00	7.15		
		時間外勤務 (時間)	0.00	1,111.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	49,399	53,216		
事業コスト		(千円)	1,273,298	1,118,823		

R02年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> ■旅費：普通旅費、特別旅費 315千円 ■需用費：消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料 8,856千円 ■役務費：通信運搬費、手数料、保険料 559千円 ■委託料：施設管理委託料、設計委託料、委託料 381,301千円 ■使用料及び賃借料：賃借料（設計積算システム使用料）653千円 ■工事請負費：土木工事、路面再生工事、修繕工事 773,070千円 ■原材料費：工事材料費（碎石、合材等） 3,184千円 ■負担金補助及び交付金：負担金 30千円 					
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	2	計画から遅れている。（未達成）
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	977 街路維持管理事業							
戦略プラン					担当部課 係名	建設部道路管理課 維持第一係、維持第二係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	任意的事務		
予算科目	01-080403-11 街路維持管理に要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解		
要求区分		事業期間				<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画		
個別計画						<input type="checkbox"/> 実行		
根拠法令	道路法				事業体制	一部委託		
					市長公約			
概要								
事業の目的				事業の概要				
景観を重視し、整備された学園地区の街路樹を管理維持することで市民生活の安定を図る。				<ul style="list-style-type: none"> 市が管理する研究学園中心部及びTX沿線地区の道路、水路等の修繕・補修工事の処理 舗装修繕工事や排水修繕工事、街路樹剪定作業の実施 市が管理する研究学園中心部及びTX沿線地区の道路、水路、長きょう物の維持管理補修や車道部や民地などに越境している範囲の選定や植樹帯の除草作業 枯植木等の伐採、除去 				
評価								
事業計画				活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> 研究学園中心部及びTX沿線地区の道路、管理水路の補修工事及び排水路の清掃を実施するとともに、損壊箇所等の早期発見のため道路パトロールを実施する。 植樹帯及び街路樹の持つ景観を生かし保持するため、適切な除草、剪定、伐採を行う。 				<ul style="list-style-type: none"> 植樹柵・植樹帯・歩道部の除草/年2回 株物剪定/年2回 落ち葉清掃実施(年1回) 街路維持管理委託年間実績 (剪定：3,816本、伐採：410本) 				
成果				課題				
除草及び剪定業務の委託により、適切な街路管理を行うことにより、市民の安全な通行の確保ができた。				研究学園都市建設から40年以上が経過し、街路樹の老朽化や巨木化が顕著となっている。樹勢が弱り、剪定や薬剤投与等の管理では回復が見込めない枯損木が存在する。それらを適切に管理する上で、樹木の更新等、見直しする必要がある、維持管理費の膨張は否めず、対策・検討が必要と思われる。				
改善目標（R02年度にむけて）								
景観にも配慮した街路樹の維持管理を行うため、市民のニーズを踏まえつつ、方針を決定する。								
指標の推移								
1	指標名	街路修繕・改修工事件数 (件)					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0
	実績	75.0	50.0	42.0	55.0	36.0	55.0	0.0
	指標の概要	修繕・改修工事の件数						
2	指標名	剪定・伐採本数 (本)					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	4,800.0	4,800.0	4,800.0	3,600.0	4,000.0	4,000.0	4,000.0
	実績	5,067.0	6,836.0	6,836.0	3,936.0	4,635.0	4,226.0	0.0

	指標の概要	一年間に行う剪定・伐採の本数						
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	183,933	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	152,000	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	585,661	581,324	619,517	624,618
事業費計		(千円)	921,594	581,324	619,517	624,618
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	7.00	3.74		
		時間外勤務 (時間)	0.00	581.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	49,399	27,836		
事業コスト		(千円)	970,993	609,160		

R02年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> ■ 需用費：消耗品費、光熱水費 45,906千円 ■ 委託料：街路維持管理委託料 523,611円 ■ 工事請負費：修繕工事 50,000千円 					

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	16,494	16,787	17,298	17,888
	一般財源	(千円)	872	886	910	380
事業費計		(千円)	17,366	17,673	18,208	18,268
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	7.00	0.11		
		時間外勤務 (時間)	0.00	16.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	49,399	817		
事業コスト		(千円)	66,765	18,490		

R02年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> ■需用費：消耗品費、光熱費、修繕料 6,027千円 ■役務費：通信運搬費、保険料 65千円 ■委託料：施設管理委託料 7,385千円 ■工事請負費：修繕工事 4,730千円 ■償還金利子及び割引料：清算金 1千円 					

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	1	ニーズはほとんどない、又は不明である。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	585 アダプト・ア・ロード事業									
戦略プラン	I	4	1	市民協働の推進	担当部課	建設部道路管理課				
総合戦略	IV	3	(1)	地域コミュニティの活性化と市民協働の推	係名	管理係				
					新規・継続	継続				
予算科目	01-080101-12 道路管理事務に要する経費				事業分類	法定+任意				
要求区分				事業期間	市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解				
個別計画						<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画				
						<input type="checkbox"/> 実行				
根拠法令					事業体制	職員のみ				
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
道路等に対する市民等の愛護意識を高め、快適で美しい道路環境づくりを推進する。					<ul style="list-style-type: none"> 市と実施団体が協働し、市道の一定区間について、地域のボランティア団体等が愛着をもって美化作業や清掃活動を行う。 道路管理者は、作業道具の貸与やゴミ回収など活動の支援を行う。 					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> 参加団体の増加を目標とする。 各団体に対して条件に合う備品の支給等援助を行う。 					年間の計画に基づき、21団体が各地域の美化活動を実施 4月・10月：北部工業団地清掃実施 6月・11月：テクノパーク大穂の管理組合による清掃実施 活動に必要な消耗品等の支給や貸与した。 (ごみ袋・軍手・ほうき・塵取り等)					
成果					課題					
各団体に美化活動を行ってもらうことで、道路に対する市民の愛護意識を高めることとなった。 また、綺麗で快適な道路環境作りを推進できた。					参加団体がなかなか増加しない。					
改善目標（R02年度にむけて）										
R01年度参加団体が増えるようチラシを作成し、広報活動に力をいれる。										
指標の推移										
1	指標名	団体数					(団体)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	18.0	19.0	20.0	21.0	22.0	23.0	24.0		
	実績	18.0	19.0	21.0	21.0	22.0	21.0	0.0		
	指標の概要	※行政改革アクションプラン「64 アダプト・ア・ロードの拡充」該当指標								
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	233	233	226	0
事業費計		(千円)	233	233	226	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.00	1.00		
		時間外勤務 (時間)	20.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	7,107	7,057		
事業コスト		(千円)	7,340	7,290		

R02年度当初積算根拠	アダプト・ア・ロード消耗品：226千円（21団体分）					
-------------	----------------------------	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		